

国登録文化財（建造物） 平成29年 6 月28日登録

あい ち けん りつ いわ づ こう とう がっ こう せい もん きゅうもん ちゅう きゅう いわ づ ちゅうりつ あい ち けん いわ づ のうしやうがっ こう せい もん
愛知県立岩津高等学校正門旧門柱（旧岩津町立愛知県岩津農商学校正門）

員 数：1 基

所在地：岡崎市東蔵前町字馬場 5

所有者：愛知県

■登録基準

造形の規範となっているもの

■登録理由

花崗岩製の2本の門柱で、柱身部は四隅だけを成形し、他の部分は粗削りの状態で仕上げている。柱頭部に笠石、柱頂部には直径54cmの半球が載る特徴的な意匠である。

■構造

石造、間口9.1m、南北脇柱付

■建設年代

昭和12年（1937）

昭和60年（1985）移設



正門 南から（愛知県教育委員会提供）

正門の歴史

旧門柱は、旧岩津町立愛知県岩津農商学校（昭和10年・1935開校）の正門として建てられたもので、その後、同校の後身である愛知県立岩津高等学校の正門として使われてきたものです。

昭和60年（1985）に、同校の施設整備と校地南側を通る県道の整備に伴い、門柱を校地の南辺中央に移設して新たな正門としました。ただし、門の両側に1本ずつ門柱を移設し、門扉などは付さず、開放された正門としています。

門柱の特徴

門柱は石造で、主門柱の高さは3m32cmです。平面形状は一辺62cm四方の正方形を基本として、四隅だけを成形し、他の部分は粗削りの状態で仕上げています。柱頭部には厚さ18cmの笠石が載り、その上に直径54cmの半球が載っています。柱身部の下部には石造の柱礎があり、移設前の状況を伝える写真（『創立八十周年記念誌』平成27年・2015）では、柱身部の下に柱礎が写っており、厚さ40～50cm程度の柱礎があったことが判明しています。

西側門柱の背面には、「昭和十二年十一月三日」と彫られており、この時期に開校当初の正門として建てられたことがわかります。



西側門柱の紀年銘 北から

（本文：愛知県ホームページより抜粋）